

## 会議録

会議の名称	令和5年度 第1回西東京市地域公共交通会議
開催日時	令和5年5月22日（月）午前10時00分から午前11時50分まで
開催場所	西東京市役所 防災・保谷保健福祉総合センター6階講座室2
出席者	【委員】古厩委員（会長：まちづくり部長）、岡村委員、関根委員 畠山委員、町田委員、米澤委員、小河委員、鎌塚委員 田中委員、滝沢委員、渡辺委員、下田委員、岩澤委員 武山委員 【事務局】長塚交通課長、本庄係長、石部主査、河野主事、田中主事
議題	西東京市地域公共交通計画の策定について ① 計画の検討手順について ② 西東京市の上位計画と公共交通が実現する移動の理想の姿について ③ 調査結果報告と課題・ニーズについて ④ 課題の整理について ⑤ 地域公共交通計画の記載事項について ⑥ 西東京市地域公共交通計画の体系（案）について
報告	令和5年度 西東京市地域公共交通会議スケジュール（予定）
会議資料の名称	《説明資料》 資料1 計画の検討手順 資料2 西東京市の上位計画と公共交通が実現する移動の理想の姿 資料3 調査結果報告と課題・ニーズ 資料4 課題の整理 資料5 地域公共交通計画の記載事項の概要 資料6 西東京市地域公共交通計画の体系（案） 資料7 令和5年度 西東京市地域公共交通会議スケジュール
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><b>1 開 会</b></p> <p>○会 長： 会議開催にあたり、西東京市地域公共交通会議設置要綱第6第2項に規定する定足数、委員の過半数を満たしていることを報告する。 議事に先立ち、会議の公開についてお諮りする。当会議は、西東京市地域公共交通会議設置要綱第7の規定により、会議録も含め、原則公開となっている。公開でよろしいか。</p> <p>～全員賛成～</p> <p>○会 長： それでは、本日の会議については原則どおり公開とする。</p>	

## 2 議 事

### 議題 ①計画の検討手順について

○会 長： 議題（１）の①「西東京市の現況整理について」事務局より説明を求める。

○事務局： 説明の前に、今後の調査に会議のご意見を反映させるため、今年度市が計画策定支援業務を委託する株式会社ライテックの担当者を入室させたいがよろしいか。

○会 長： 計画策定支援業務を委託する株式会社ライテックの担当者を入室させてよろしいか。

～全員賛成～

○会 長： それでは、株式会社ライテックの担当者の入室を認める。

～株式会社ライテック入室～

○事務局： 資料１の説明。

○会 長： 事務局からの説明について、質問、意見があれば発言願いたい。

～意見等特になし～

○会 長： お気づきの点があれば、事務局へ連絡いただきたい。

### 議題 ②西東京市の上位計画と公共交通が実現する移動の理想の姿について

○会 長： 議題の（１）の②「西東京市の上位計画と公共交通が実現する移動の理想の姿について」事務局より報告を求める。

○事務局： 資料２の説明。

○会 長： 事務局からの説明について、質問、意見があれば発言願いたい。

○委 員： 次期都市計画マスタープランの案にある、分野別まちづくりの方針の（３）交通環境整備の方針で③開かずの踏切解消に向けた検討、④交通結節機能の強化と駅前広場の環境整備とある。③については田無駅付近の踏切等が考えられるが、④について交通結節機能は強化されたが、駅前広場の賑わいが無くなったということにならないよう、駅前広場の環境整備に、産業政策のような賑わいの観点も踏まえた検討をしていただきたい。立川では、バス運行が終わった後に駅前がタクシーベイに替わるといった事例もある。

○事務局： 賑わいという観点は、まちづくりにおいて大事なものと捉えているので

- こちらを踏まえて検討していきたい。
- 委員： 資料2、1ページ目の「まちづくりの目標」の目標1を教えてください。
- 事務局： 目標1は「身近に緑が感じられるまちの形成を目指します。」としている。
- 委員： 資料2、4ページ目の「公共交通が実現する移動の理想の姿（案）」は本日の会議で了承を得たら、これでほぼ確定になるのか。それとも今後の議論でやや軌道修正をしながらいくのか。
- 事務局： こちらは、現時点で事務局側が構想している案であり、特段問題が無ければこのままとすることも考えられるが、上位計画の策定状況を踏まえ、委員の皆様からのご意見等を踏まえて軌道修正していくことを考えている。
- 委員： 上位計画をベースに作成しているのは良いが、ここから具体的な計画へ繋げる際におかしくならないようにしていただきたい。ここに掲げている8項目は並列しておらず、移動する人からの視点、ネットワーク形成からの視点と混在しており、個別の議論を通して内容を整備していく必要がある。
- 会長： 本日の資料6で、今後どう展開していくかを示しているので、後程、議論していただきたい。

### **報告事項 ③調査結果報告と課題・ニーズについて**

- 会長： 議題の(1)の③「調査結果報告と課題・ニーズ」について、事務局より資料の説明を求める。
- 事務局： 資料3の説明。(株式会社ライテック)
- 会長： 事務局からの説明について、質問、意見があれば発言願いたい。
- 委員： 外出困難者の徒歩での移動可能距離だが、坂の有無を含めて検討していただきたい。日野市の事例では坂の有無によって距離に係数をかけ補正しており、西東京市も勾配があるので参考にしていきたい。例えば武蔵境通りから田無駅へ行く際に、富士見橋バス停があるが、バス停から踏切まで歩かず一駅だけバスを利用する方もいる。  
もう一点は、自転車のマナーに関する項目も検討していただきたい。近年、自転車利用者のマナーの悪さや、自転車同士の事故も多発しており、計画内に自転車マナーに関する教育等を含めた方が良いのでは。
- 事務局： 一点目の坂に関しては、比較的西東京市は平坦な地形のため、どの地域をフォーカスするかによって検討していく必要があるかと思う。計画実施

期間に、具体的な事業検討、調整段階において、坂に関して検討の視点となるよう、計画の書き方を検討していきたい。

もう一点の自転車のマナー教育に関しては、自転車を公共交通を補完するものとして位置づけて計画内容を検討しているので、いただいた意見を参考にしたい。

○委員： 自動車・自転車走行環境、歩行環境の改善に関して、道路標識を取り上げていただけたらと思う。保谷新道の横断歩道において、「歩行者あり止まれ」の立て看板が設置されたことにより、自動車が停車するようになった事例もある。

○事務局： 地域公共交通計画で交通安全に関する具体的施策をどう盛り込むかは今後検討となるが、交通課として交通安全計画を策定しており、こちらで、いただいた意見を踏まえて取り組んでいきたい。

○委員： シェアサイクルに関しては、アンケートでの利用意向が全体の25%となっているが、先程意見があったように自転車利用者の安全性が懸念される点や、シェアサイクルの普及によるバス利用低下の恐れもあるため、導入については慎重に検討していただきたい。

○委員： 自転車走行環境の満足度が低い、道路環境が悪いため満足度は高くないと思う。道路環境の悪さが、自転車利用者のマナーの悪さを誘発していることも考えられるので、道路環境の改善策にもう少し重視していただきたい。また教育に関しては子供だけでなく幅広い年代への取り組みが必要であり、公共交通に関心が無い方へのイベント等の啓発活動や利用促進策の視点があると良い。

○事務局： 頂いたご意見の中で、特に公共交通に関心が無い方への啓発活動は、全体的な公共交通の利用促進につながると考えられるので、今後の施策検討において位置づけていきたい。

○委員： 今後、より詳細な分析として、年代別の分析や、地区別の集計において町別だけではなく、バス停までの距離を考慮するのもあると思う。同じ町でもバス通りに面している所と、面していない所が混在する町もあり特性が異なる可能性がある。

○委員： 資料3、1ページ目の(6)交通流動状況で「市内から市外、市外から市内と活発な流動がある」と記載されているが定量的に計られたものがあるのか。

○事務局： こちらは参考資料16ページのH30年度東京PT調査結果から評価している。

○委員： H30年だとコロナ前のデータになり、コロナ後に人の流れも大きく変わってきているので、その辺も留意して検討していただきたい。

○委員： 資料3、2ページ目の②バスの改善の必要性が高い事項で「バス停の環境」があり不満度も参考資料84ページで4割近くとなっているが、具体的には何に対して不満が高いのか。設置場所か。

○事務局： こちらの質問項目に関しては記述回答でないため具体的にはわからないが、バスを待っているときの環境（ベンチの設置、上屋の設置等）と捉えている。

○会長： 他になにかあるか。無いようなのでこちらの資料についての議論は以上とする。資料3、表の一番右側にある「公共交通における移動のニーズ・課題」の部分において、本日出た具体的な事例やシェアサイクルに関する検討等があるかと思うので、事務局の方で整理願いたい。

#### 報告事項 ④課題の整理について

○会長： 議題の（1）の④「課題の整理」について、事務局より資料の説明を求める。

○事務局： 資料4の説明。

○会長： 事務局からの説明について、質問、意見があれば発言願いたい。

○委員： 資料4の「8 公共交通サービスの維持」「9 公共交通の利用促進」「10 ゼロカーボンシティの実現に向けた取組」「11 多様な主体との連携、協力」に関しては、どこが主体となってやっていくのか、地域の中で何が大事なのかを見極めながら公共交通計画の検討をしていただきたい。バス事業者、タクシー事業者ともに乗務員不足で苦しんでおり、先程意見があったバス停環境の整備に関しても全てのバス停に対応するのは難しい。他地域の事例が、そのまま西東京市に当てはまるとは思わないが、新たな交通手段（デマンドタクシー、シェアサイクル、MaaS等）を実施する際も自治体が主体としてやるのか等の役割を含め、バス事業者、タクシー事業者の維持、存続等も考慮いただきたい。

また記載において「9 公共交通の利用促進」では、自転車利用から公共交通利用への転換の促進、「10 ゼロカーボンシティの実現に向けた取組」ではシェアサイクルの導入の検討と、相反する箇所がある。

○委員： 資料4の「3 交通手段相互の連続性」の利用者満足度の向上で、駅や主要施設でのタクシーの待機台数とあるが、雨天時は需要が多く賄いきれない。また、アプリを利用して駅の手前で乗車する方がいることや、病院で待機ができない施設もあるため、待機すること自体が難しい。課題として挙げているが、解決方法がないものを課題として挙げるのはどうか。

○事務局： こちらの課題は昨年度調査から抽出した市民意見を踏まえたものだが、

一方で頂いたご意見のような実態であるということ鑑み、今後相談しながら検討していきたい。

○委員： 資料4で「1 地域によって、交通手段の選択肢や満足度に差があること」と記載されているが、交通空白地域がどのように設定され、その解決策が議論されていない中で、課題という認識が難しい。課題を解決する手段をどのように考えているのか伺いたい。

また「鉄道駅までの利便性の向上」と記載されているが、利便性の向上とは、何を指しているかをご教示願いたい。

○事務局： 課題に関しては、前計画からの状況や、昨年度の調査結果から挙がってきた内容であり、実際にどの地域をどのようにしていくかは具体的に決まっていない。同様に、鉄道駅までの利便性向上も具体的な内容に関しては決まっておらず大きな題目として挙げている状況で、今後、計画策定のかで具体的な内容や方針を検討していきたい。

○委員： 課題と現状が混在しており、課題の抽出については、本会議で議論しながら検討していくのが良いかと思う。

○会長： あくまで基礎調査からのキーワードからニュアンス的なものを抽出しており、これをたたき台に今後議論する際に、優先度や実現性を含めて検討していただきたい。

○委員： 次のステップになるかもしれないが、資料2、4ページ目の「公共交通が実現する移動の理想の姿（案）」と資料4で挙げられた「課題の整理」を、どのように合体、連動するのか。資料2は様々な計画から重要ポイントを集約したもので、資料4はアンケート結果から引用されたものとなっている。

○会長： それに関しては、この後の資料6において事務局から説明があるので、その時点で回答させていただく。

○委員： 資料4での「課題の整理」は、現状成果や問題の整理に当たると思う。課題とは解決の方向性を示すものであり、「地域によって、交通手段の選択肢や満足度に差がある」とは、現状であって課題ではない。利便性や、交通空白地域、年代別での満足度との関係性や、それに伴う移動頻度や実態の差が、格差となる。格差を是正するというのを課題にしても良いかと思う。

○会長： 分析の仕方、今後のやり方については頂いたご意見を参考に事務局の方でも整理願いたい。

**報告事項 ⑤地域公共交通計画の記載事項、⑥西東京市地域公共交通計画の体系（案）  
について**

○会 長： 議題の（１）の⑤「地域公共交通計画の記載事項」、⑥「西東京市地域公共交通計画の体系（案）」について、事務局より資料の説明を求める。

○事務局： 資料５、６の説明。

○会 長： こちらは現時点での、計画のたたき台、素案と理解しており、今後委員の方々に複数回ご意見を伺いながら内容を深めていくうえでの、第一弾と捉えている。先程委員から質問のあった箇所は、資料６左側の橙色と水色の枠の関係性だと思うが、補足があれば説明いただきたい。

○事務局： 資料３の表（真ん中）にある現状、実態と、上位計画をベースに検討した８つのキーワード（橙色枠）とのギャップについて、課題（水色枠）として抽出している。具体的な紐づけをしているものではない。

○委 員： 水色枠の課題を４つの基本方針に集約しているが、それと同様に橙色枠の８つのキーワードも基本方針に連動するかと思う。例えば、「①安全で快適で便利である」は、基本方針２に連動、「②すべての人と環境にやさしい」は、基本方針３に連動するかと思う。

○委 員： 計画の策定にあたって、長期的な課題なのか短期的な課題なのかの時間軸を示した方が良い。地域公共交通計画が１０年とのことで、概ね５年以内で解決できるのか、５年超のものかを示した方が市民にも理解が得られ、また世の中の状況変化もあるので５年経過後に、見直しも考えられるかと思う。

○事務局： 長期、短期等の時間軸に関しては委員の方々とご相談しながら提示したい。また見直しに関しても計画内に含めないといけないので、そちらに関しても合わせて委員の方々にご相談させていただきたい。

○委 員： 資料６の青枠「８.公共交通サービスの維持」に関しては、交通事業者側に投げ掛けるだけではなく、自治体も主体となって取り組んでいただきたい。また、近隣自治体との連携も考慮いただけたらと思う。

○会 長： 頂いたご意見より、実施主体をよく考慮し今後整理を進めていただきたい。

○委 員： 資料６の目標に関しては、目標というより、目標を達成するための方策や手段が書かれていると思う。本来の目標とは、この手段によって達成される姿は何かということで、橙色枠の理想の姿から落とし込むのだが、今のところ繋がっていない。理想の姿と課題から、西東京市としてどう整備していくのかの方策が基本方針となる。目標１～１０に関しては、再構築の必

要性があり、目標設定のための詳細分析については手間をかけていただきたい。

- 会 長： 資料3から資料6にかけて、かなり委員の方から意見が挙がっている  
ので、事務局側は対応等願いたい。一点、時間軸に関しては、本計画が10年  
を想定し、市の上位計画も10年と合致するが、都市計画マスタープランに  
関しては20年となっており、公共交通における基盤整備に関しては、計画  
期間を超えるものもあるかと思うので、その点も留意しながら検討願いた  
い。

#### 報告事項 その他について

- 会 長： その他「令和5年度 西東京市地域公共交通会議スケジュール（予定）」  
について、事務局より資料の説明を求める。
- 事務局： 資料7により、令和5年度 西東京市地域公共交通会議スケジュール（予  
定）について説明。委員の任期は令和5年7月31日までとなる。
- 会 長： それでは、以上をもって令和5年度 第1回西東京市地域公共交通会議を  
閉会する。

以上